「なみえルーフ」が生み出す、人のつながり

駅前の芝生広場を囲んで、木をふんだんに使った建物と、ひと続きにつながるアップダウンのあるダイナミックな大屋根「なみえルーフ」が、町ににぎわいを生み出します。みんなが「なみえルーフ」に集まり、人と人のつながりが生まれます。

詳しい内容はこちらを見てね！

YouTube

浪江駅周辺整備事業



幻想的に照らし出される夜の駅前空間



新しい浪江が見渡せる展望テラス



駅の東西を結ぶ自由通路



公営・民間住宅

延床面積 約6,300㎡

芝生広場に面した住居棟は、プライバシーに配慮して1階は集会スペースとします。周囲には木々が立ち並び、駅前にありながら落ち着いた住環境となります。



交流施設

延床面積 約2,100㎡

2階　コワーキングスペース、打ち合わせブース
1階　情報発信、カフェ、待合スペース

館内のコミュニティラウンジから芝生広場が一望できます。居住者や来訪者の交流の場としてお使いいただけます。



商業施設

延床面積 約2,500㎡

スーパーマーケット、物品販売店舗、飲食店など

広場を取り囲むように店舗が並びます。ガラス張りの壁で、屋内にいても開放感が生まれます。店内は明るく、外からも店内の賑わいが見えます。

浪江町長

吉田 栄光
Eiko YOSHIDA



浪江駅周辺を「皆さまが希望の持てる世界に誇れるような街並み」にします。そして、そのにぎわいを町全体に波及させて、持続可能なまちづくりに取り組みます。この計画は、皆さまが活躍する舞台づくりです。住む、働く、訪れる、浪江町の主役は皆さまです。いっしょにまちづくりをしましょう。

建築家

隈　研吾
Kengo KUMA



駅から始まり、その周辺の交流・商業施設や共同住宅までを総合的にデザインできるのは、世界的に見ても貴重なチャンスです。浪江町の自然や文化と共にこのチャンスを活かし、人々がひとつの大きな屋根でつながり、そして世界に発信していくような街をつくっていきます。

プロジェクトプランナー 元東京藝術大学特任教授

伊東 順二
Junji ITO



11年前、防護服を着てなんとかかつての町の姿を映像に残そうと誰もいない街を巡った時は、今このように復興に関われるとは想像もしていませんでしたが、いつかこの記録で貢献したいと強く思っていました。当時の駅周辺が新しいデザインに生まれ変わることは素晴らしいことで、そこに残っていた思い出をぜひ形にしたいと思っています。

住友商事株式会社 執行役員 EII SBU長

北島 誠二
Seiji KITAJIMA



浪江町の皆さんと共に、あたらしい浪江の姿をデザインしていく貴重な機会を頂きました。

水素や再生可能エネルギーをエリア環境と調和させながら、新たなチャレンジの場を創出し、浪江町に根差した新しいライフスタイルを世界に発信できるまちづくりに貢献していきます。



浪江の魅力を集めた「連続する緑空間」

駅前から新町通りまで連続する緑空間に、山と海の両方の良さを持つ浪江町の特徴を活かします。